

# 平成20年度 高知大学公開講座

## 「自然と文化」ご案内

主 催 高知大学国際・地域連携センター生涯学習部門

共 催 大豊町教育委員会

日 時	第1回	6月 6日(金)	午後7:00~8:45
	第2回	6月13日(金)	午後7:00~8:30
	第3回	6月20日(金)	午後7:00~8:30
	第4回	6月23日(月)	午後7:00~8:30
	第5回	7月 4日(金)	午後7:00~8:45
場 所	大豊町総合ふれあいセンター 3階多目的ホール		

### 講座タイトルと講師

#### 第1回 子どもの体力について考える

教育学部 保健体育 保健体育科教育 教授 かみや 神家 かずしげ 一成

#### 第2回 新しいガン検査 PET-CTとは

医学部 附属病院 PETセンター長 ふくもと 福本 みつたか 光孝

#### 第3回 メタボリックシンドローム

医学部 内分泌代謝・腎臓内科学 准教授 すえひろ 末廣 ただし 正

#### 第4回 認知症(痴呆)の対策と予防

医学部 附属病院 神経科精神科 講師 かみむら 上村 なおと 直人

#### 第5回 食と健康2 ~地域の食材を活用した産業活性化~

国際・地域連携センターセンター長・副学長 教授 うけだ 受田 ひろゆき 浩之

### 募集人員 30人

受講される方にはテキストを頒布し、3回以上出席された方には修了証書を授与します。

お申し込み 大豊町教育委員会 生涯学習班 (TEL0887-73-0811) へ、5月30日(金)までにお申し込みください。

受講料 1,200円

### 少しだけ、高知大学国際・地域連携センター、生涯学習部門の商業

高知大学国際・地域連携センター、生涯学習部門では、いろいろな学習の場を提供しています。なんでも、お気軽にご相談下さい。

お問い合わせ先：高知大学国際・地域連携センター生涯学習部門

TEL：088-844-8555 FAX：088-844-8556

E-mail：[sakamoto@cc.kochi-u.ac.jp](mailto:sakamoto@cc.kochi-u.ac.jp) (坂本)

\* ホームページも見てね URLは <http://www.kochi-u.ac.jp/~wwwlife/index.html>

# 講座題目・講師一覧

月 日	時間	講座の内容と講師
6月6日(金)	19:00 ~ 19:15	<b>開 講 式</b>
	19:15 ~ 20:45	<b>子どもの体力について考える</b> <span style="float: right;"><b>神家 一成</b></span> 近年、子どもの体力は低下傾向にあり、学力低下の問題とともに社会的問題となっています。今回の講座においては、まず児童生徒の体力の現状を色々な調査の結果を通して紹介します。また子どもの体力低下をひきおこした原因や、体力低下が子どもの健康や生活にどのような影響を及ぼすかについてお話しします。最後に子どもの体力向上に必要な方策について、特に家庭や地域においてできる方策を皆さんと一緒に考えたいと思います。
6月13日(金)	19:00 ~ 20:30	<b>新しいガン検査 PET-CTとは</b> <span style="float: right;"><b>福本 光孝</b></span> 新しい癌の検査であるPET-CTについてお話しします。癌が増殖(成長)するには栄養が必要で、それはブドウ糖です。ブドウ糖は二日酔いのときに点滴に使われたりしますし、毎日の食事で炭水化物が分解されてブドウ糖として体に吸収されます。癌は、このブドウ糖を正常な細胞の何倍も吸収します。この様子を画像にするのがPET-CTです。図に示しますように、PET-CTで肺癌(太矢印)とたくさんのリンパ節への転移(細矢印)がたいへんよくわかるでしょう。PET-CTは、たった1回の検査で全身のほとんどの癌とその進行度を調べることができるので、癌診療の第一選択になっています。もちろん、癌検診に用いることも可能です。今回は、高知県で高知大学医学部附属病院にしか設置されていない、とても安全で苦痛がなく、癌の診療に必要な不可欠になってきたPET-CTについてお話しします。 
6月20日(金)	19:00 ~ 20:30	<b>メタボリックシンドローム</b> <span style="float: right;"><b>末廣 正</b></span> 1980年後半から、内臓肥満、耐糖能異常、高血圧、血清脂質異常の重積する病態が、心筋梗塞、脳梗塞などの心血管疾患の発症に関係することが示され、本病態をメタボリックシンドロームと呼ぶようになりました。このような病態の発症には内臓脂肪の蓄積が基盤となっています。近年、わが国も含めた先進国では、過栄養と身体活動の低下によりメタボリックシンドロームが増え、心血管疾患発症の大きな原因となっています。世界保健機構(WHO)をはじめ、世界各国において、これに対応すべく診断基準を作成し、本シンドロームの予防と改善を目差しています。今回は、本シンドロームがなぜ起きて、なぜ問題になるのか、そして、どう対応すればよいのかということについてお話しします。
6月23日(月)	19:00 ~ 20:30	<b>認知症(痴呆)の対策と予防</b> <span style="float: right;"><b>上村 直人</b></span> 高齢社会を迎えたわが国では、今後認知症高齢者の問題が非常に重要となっています。特に中山間地域を抱えた高知県は特に問題です。また住民が一番なりたくない、避けたい病気に「認知症」をあげています。医療技術が進み、これまで診断や、介護保険制度などの充実が図られている一方で、認知症対策は課題も多く、医療、保健、福祉及び地域の連携が非常に重要です。そこで、認知症の対策の課題として見逃せない認知症を正しく知ることによって焦点を絞り、そこから認知症の予防についても述べてみます。
7月4日(金)	19:00 ~ 20:30	<b>食と健康2 ~地域の食材を活用した産業活性化~</b> <span style="float: right;"><b>受田 浩之</b></span> 我々は、高知県が誇る様々な「地域資源」を活用して、高知県民の健康増進に資する加工食品を開発し、一次産業を活性化し地域の振興を図るプロジェクトを推進している。本講座では、具体的な「地域資源」として、「桜茶」、「碁石茶」の有する「抗酸化能(活性酸素が原因となっている生活習慣病のリスク低減)」の評価、ショウガやニラなどの農産物の有するヘリコバクター・ピロリ(胃潰瘍・胃炎などの原因と言われている胃に生息する微生物)に対する抗菌作用、さらにカツオの有する糖尿病の合併症予防効果(カツオの成分・アンセリン)について解説し、これらの食材を用いた健康まちづくりの一例を紹介することで、「地産地消地検」で培ったブランドを域外へ展開していく戦略を述べたい。
	20:30 ~ 20:45	<b>閉 講 式</b> (修了証書授与)